

(1) 官営八幡製鐵所（世界文化遺産）と関連施設を巡る

①新日鐵住金（八幡製鐵所）工場見学

東京ドーム約 150 個分の広大な敷地の中、鉄鋼製品の製造工程（高炉工場、熱延工場）を見学します。



高炉工場



熱延工場

②官営八幡製鐵所（旧本事務所）と東田第 1 高炉跡

2015 年に「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産登録が決定した官営八幡製鐵所（旧本事務所）と、日本初の超高圧高炉として操業した東田第 1 高炉跡を地元ガイドの説明とともに見学します。なお、官営八幡製鐵所（旧本事務所）は、現在も操業している製鐵所構内にあるため、眺望スペースからの見学となります。



官営八幡製鐵所（旧本事務所）



東田第 1 高炉跡

移動経路中に『若戸大橋』があります。

若戸大橋は、北九州市を横断する国道 199 号（門司区～八幡西区）のうち、洞海湾に架設された全長 2.1km の長大吊橋です。日本における長大橋の始まりであり、建設当時は「東洋一の吊り橋」とうたわれていました。



(2) 自然をテーマにしたデザイン橋梁群散策

小倉の中心を流れる紫川の河口には、自然をテーマ（海、火、木、石、水鳥、月、太陽、鉄、風、音）にした10橋があり、その個性的なデザインの橋を地元ガイドとともに徒歩で巡ります。周辺には小倉城、松本清張記念館などがあります。



海の橋「紫川大橋」



型 式：2 径間連続 P C 箱桁橋

諸 元：橋長 87. 0m、幅員 35. 0m、
支柱式支保工架設 1993. 4 完成

特 徴：歩道と車道が分離する構造。歩道は
歩く人の目線を高くし海への遠望が
出来るようにアーチ状になっており、
歩きながら海の眺めを楽しめます。

火の橋「室町大橋」



型 式：3 径間連続 P C 中空床板橋

諸 元：橋長 77. 3m、幅員 15. 0m

特 徴：高欄は光を適度に反射するアルミを
使用し、光の強さに応じて趣を変え
る様子は、炎のゆらめきや水面を走
るさざなみをイメージしており、美
しいシルエットを楽しむことができ
ます。

木の橋「常盤大橋」



型 式：3 径間連続ダウエル積層木橋

諸 元：橋長 85. 0m、幅員 6. 0m
1995. 3 完成

特 徴：高欄はチーク材（東南アジア産）を
使用し、桁はボンゴシ材（西アフリ
カ産）を使用しています。欄干の擬
宝珠（ぎぼし：欄干の柱頭部の飾り
）は、270 年前のものを復元してい
ます。

石の橋「勝山橋」



型 式：3 径間連続 P C 中空床板橋

諸 元：橋長 88. 0m、幅員 40. 0m
支柱式支保工架設、2000. 8 完成

特 徴：架け替えにおいて旧橋の通行止めが不可能であったため、上流側に完成時に歩道となる迂回路を整備し、旧橋を取り壊しながら下流側を施工した分離構造です。歩道の黒御影に混じる縞模様は江戸時代の豊前小倉の綿織物・小倉織の模様を色違いの御影石を組み合わせせて表現しています。

風の橋「中島橋」



型 式：3 径間連続 P C 中空床板橋

諸 元：橋長 83. 5m、幅員 25. 0m
支柱式支保工架設、1992. 7 完成

特 徴：橋梁から張り出した円形広場の中に設けられた風のモニュメントは、高さが 35m あり、遠くからでも楽しめます。高欄はステンレス製のワイヤーを用いて、橋梁が軽やかに、風を感じられるように、シンプルにデザインされています。

音の橋「豊後橋」



型 式：2 径間連続 P C 斜張橋

諸 元：橋長 75. 7m、幅員 16. 0m
支柱式支保工架設、1983. 6 完成

特 徴：主桁は P C 中空床版とし、塔は R C 独立 2 本柱、斜材は 3 段の 2 面吊、ハープ型。主桁桁高は支間長の 1/53 と低く、全体的にスレンダーな感を与えます。斜材はポリエチレンコーティングされたストランド 8 本から構成されステンレス管に収納しています。